

小規模企業景気動向調査

[平成16年5月期調査]

全産業に一服感が漂う小規模景況

平成16年6月14日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象:全国約300商工会の経営指導員

調査時点:平成16年5月末

調査方法:対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体>

5月の小規模企業景気動向調査によると、産業全体のD.I.(景気動向指数・前年同月比)は、売上額がマイナス19.2(前月比マイナス6.1ポイント)、採算がマイナス24.7(同マイナス6.5ポイント)、資金繰りがマイナス23.6(同マイナス3.5ポイント)、業況がマイナス26.1(同マイナス5.1ポイント)となった。製造業は原材料価格の高騰、建設業は公共工事の削減、小売業及びサービス業は大型店等への顧客流出と言った回答が多く、全体の業況は悪化している。製造業を牽引に、先月は大幅な改善を示した景気動向であるが、今月度は全ての業種で停滞する結果となった。

<製造業>

製造業については、売上額がプラス3.7(前月比マイナス4.7ポイント)、採算がマイナス7.6(同マイナス3.9ポイント)、資金繰りがマイナス9.4(同マイナス3.6ポイント)、業況がマイナス5.3(同マイナス6.7ポイント)となった。自動車、デジタル家電、機械、金属、電子部品では好調という回答が多いものの、鋼材に加え、原油、豆類、木材と言った原材料の高騰が見られ、収益環境は厳しい。業況を中心に全ての項目で悪化している。

<建設業>

建設業については、完成工事額がマイナス37.9(前月比マイナス14.7ポイント)、採算がマイナス48.1(同マイナス14.8ポイント)、資金繰りがマイナス44.9(同マイナス5.9ポイント)、業況がマイナス51.7(同マイナス10.1ポイント)となった。一部の地域では、災害復旧工事などの需要が見られるものの、新年度に伴い、全般的に公共工事が減少していることに加え、資材価格の上昇や価格競争により採算を中心に悪化している。

<小売業>

小売業については、売上額がマイナス25.1(前月比マイナス5.2ポイント)、採算がマイナス26.4(同マイナス6.8ポイント)、資金繰りがマイナス24.3(同マイナス3.3ポイント)、業況がマイナス27.3(同マイナス0.5ポイント)となった。高機能テレビへの買換需要等を中心に家電販売店には明るい声が見られるものの、消費者の大型店への流出に歯止めをかけられないと言った回答が多く、採算、売上を中心に悪化している。

<サービス業>

サービス業については、売上額がマイナス17.3(前月比プラス0.3ポイント)、採算がマイナス16.9(同マイナス0.5ポイント)、資金繰りがマイナス15.7(同マイナス1.2ポイント)、業況がマイナス19.9(同マイナス2.7ポイント)となった。大型連休により、観光地や温泉地では明るい回答が目立つ。洗濯業は、衣替えのシーズンにもかかわらず売上が伸びないという回答が多い。理美容業は、来店頻度の減少やチェーン店の出店による影響を受けている。業況を中心に悪化している。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	13.1	19.2	6.1	8.4	3.7	4.7	23.2	37.9	14.7
採算	18.2	24.7	6.5	3.7	7.6	3.9	33.3	48.1	14.8
資金繰り	20.1	23.6	3.5	5.8	9.4	3.6	39.0	44.9	5.9
業況	21.0	26.1	5.1	1.4	5.3	6.7	41.6	51.7	10.1

業種	小売業			サービス業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	19.9	25.1	5.2	17.6	17.3	0.3
採算	19.6	26.4	6.8	16.4	16.9	0.5
資金繰り	21.0	24.3	3.3	14.5	15.7	1.2
業況	26.8	27.3	0.5	17.2	19.9	2.7

注)D.I.(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

問い合わせ先:振興部 振興課 長岡 TEL:03-3503-1256(直通)

E-mail: ml-sinkou@shokokai.or.jp